

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	過去の大規模な気候変動における氷床・海洋・大気の相互作用の解明
研究代表者	阿部 彩子 (東京大学・大気海洋研究所・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は過去の地質資料等に記録されている気候の急変の数値モデルによる再現を試み、長期的な気候システムの動作を理解しようとするものである。目的は明確であり、学術的な意義も高い。これまでに応募者は数値モデルによる過去の気候変動の再現に関する国際的な成果を上げている。本研究はその実績を踏まえ、さらに多様な要因の相互作用を組み込んだ数値実験を試みるものである。その成果は人類の未来に予察を与えることになると考えられる。</p> <p>計算機による数値実験のシナリオが十分に説明されなかったことが懸念されたが、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>